

## 記念講演2

### 「学童保育の役割と未来 ー歴史から考えるー」

石原 剛志さん（静岡大学 教授）

#### 【プロフィール】

1969年愛知県生まれ。

保育園で働くパートナー（元・学童保育指導員）と共働き。学童保育所に通う小4と、中1（6年生まで学童に通い続けました！）、二人の男の子を育てている。

現在、静岡大学学術院教授。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程を満期単位取得退学後、長野大学講師・助教授などを経て、現職。日本学童保育学会理事。

学生時代と大学卒業後1年間非常勤職員として、

名古屋市瑞穂区内の学童保育所で働いたことが学童保育の研究を志そうとしたきっかけ。

『日本の学童ほいく』2017年10月号から2018年3月号まで「学童保育を求め、つってきた人々 学童保育の歴史から学ぶ」を連載執筆。その他、学童保育に関する著書に「今川学園保育所における学童保育と園長三木達子の思想と行動--敗戦から一九五〇年代半ばまで」（『日本学童保育学会紀要 学童保育』1巻、2011年）、『学童保育と子ども・子育て新システム』（かもがわ出版、2011年、共著）、『学童保育指導員のための研修テキスト』（かもがわ出版、2012年、共著）など。

